

The 145th Annual Meeting of the Pharmaceutical Society of Japan

日本薬学会 第145年会 併催展示会

出展のご案内 (機器展示)

会期

2025年

3月27日(木)～29日(土)

会場

福岡国際会議場

マリンメッセ福岡 B 館

<併催展示会内容>

薬科機器・医薬品・文献情報検索システム・書籍

ワークショップ

新技術・新製品セミナー



日本薬科機器協会
<http://www.nyk.gr.jp/>



日本薬科機器協会
ホームページQRコード

写真提供：福岡市

出展案内目次

- 日本薬学会 第 145 年会組織委員長ご挨拶 2 頁

- 展示募集要項 5 頁

- ワークショップについて 9 頁

- 新技術・新製品セミナーについて 10 頁

- 前回出展状況(参考) 11 頁

- 前回開催状況(参考) 12 頁

- 展示申込書提出方法について 13 頁

- 展示申込書 別紙 1

- ワークショップ参加申込書 別紙 2

- 新技術・新製品セミナー参加申込書 別紙 3

薬学エコシステムの推進：異分野連携で拓く未来のイノベーション 日本薬学会第145年会薬科機器展示会によせて

日本薬学会第145年会
組織委員長 大嶋 孝志
(日本薬学会副会頭、九州大学教授)

はじめに

日本薬学会第145年会は、2025年3月26日(水)から29日(土)までの4日間、福岡国際会議場とマリンメッセ福岡B館を主会場として開催されます。

日本薬学会年会は日本の薬学関係者が一堂に会する最大規模の学術集会で、大学で教育・研究に携わる者、企業で医薬品の研究・開発に携わる者、病院や薬局で医薬品の適正使用を推進する者、行政の立場から医薬品の有効性・安全性の確保に努める者、さらに、将来の薬学および関連領域を担う大学院生・学部生など、7,500名を越える参加者が見込まれます。

薬学は、単一の分野や専門知識だけではなく、物理系、化学系、生物系、医療系、臨床系などの多様な学問の力を必要とする総合科学です。それに加え、昨今の薬学研究における様々な課題を克服していくためには、従来の垣根を超えたさらなる異分野連携が極めて重要となっています。

第145年会では、年会という場が異なる部会、学会、国、業種(薬学研究者、薬剤師)、研究手法(実験科学、情報科学)、世代などの様々な垣根を超え、お互いの情報を交換し、お互いをよく理解し、お互いの繋がりを強く・深くする場となることを願い、「薬学エコシステムの推進：異分野連携で拓く未来のイノベーション」をテーマに設定しました。

日本薬学会第 145 年会の概要

公益社団法人日本薬学会は「くすり」に関係する研究者や技術者が学術上の情報交換を行い、学術文化の発展に寄与することを目的として 1880 年に設立された学術団体です。薬学部・薬科大学教員、製薬企業関係者、病院・薬局関係者がその会員の多くを占め、新しい医薬品の研究・開発・製造と安全性確認、臨床での適正使用の推進など、薬を使って様々な病気を克服することを目指した 1 万 5 千人を超える会員への情報源として機能しています。

日本薬学会第 145 年会は 2025 年 3 月 26 日（水）～ 29 日（土）の 4 日間、福岡市で開催いたします。多岐にわたる薬学研究に携わる多くの研究者や医療人、教育者が集い、最新の研究成果を発表するとともに、薬学教育のあり方を議論することで、未来への持続可能なイノベーションを起こす機会となる期待を込めて、第 145 年会のテーマを「薬学エコシステムの推進：異分野連携で拓く未来のイノベーション」としました。第 145 年会では、例年と同様の特別講演・受賞講演・シンポジウム・一般学術発表（口頭・ポスター）などの開催を予定しております。会期中の週末（土）には、医療現場の薬剤師の皆様を対象とする企画を配置し、非会員の皆様でも参加しやすいように割安な 1 Day-Pass も用意いたしました。さらに、市民を対象とした公開講座（無料）を通じて、地域住民に対して医薬品はもとより保健衛生思想の啓蒙と薬学への理解を深める努力をします。

企画シンポジウムは、ダイバーシティシンポジウム、国際シンポジウム、九州山口地区における薬剤師シンポジウム、長井記念薬学研究奨励支援シンポジウムなど、日本薬学会および組織委員会が企画するシンポジウムとなります。

公募シンポジウムとして、スポンサードシンポジウム（アカデミア）、スポンサードシンポジウム（産学連携）、一般シンポジウム（部会間・他学会ジョイント）、一般シンポジウム、大学院生・学部生シンポジウムなどを募集します。

薬科機器展示会とその会場

薬科機器展示会は、マリンメッセ福岡 B 館 1 階の展示室で実施いたします。

参加者の展示会場への誘導のため、奥のスペースをポスター会場、入り口に近い方の約半分のスペースを展示会場といたします。あわせて、展示会場内には、参加者の休憩コーナーが設けられ、ドリンクの配布も予定されています。また、マリンメッセ B 館 2F には、講演会場も 4 会場予定しており、間違いなく多くの参加者が展示会場を訪れるものと期待しています。

展示会場では、薬科機器、新薬情報、文献情報システム、書籍等の展示などを予定しています。また、ワークショップや新技術・新製品セミナーなどの実施も予定しています。薬科機器展示会場では、多くの研究者や薬剤師の皆さまに最先端の機器や新薬などに触れていただくとともに、新刊書籍や文献などの最新情報を収集していただけたらと思います。

それに加えて、薬学生と企業をマッチングする「リクルートコーナー」も用意いたします。たくさんの薬学生の皆さんの来場が期待されます。

結びにかえて

日本薬学会年会は、日本の薬学関係者が一堂に会する学術集会です。医薬品を取り巻く幅広い分野から多くの参加者が集結いたします。創薬研究においては最先端の分析・測定機器が必須であり、医療現場では最新の調剤・包装機器が必要とされます。そして、創薬・医療・薬学教育の全ての場において、最新の情報収集・解析システムが求められています。本年会が、参加者の皆様と機器展示にご協力いただきました企業の皆様にとりまして、有意義な場になることを切に願っております。

最後になりましたが、本展示会の開催・運営にご尽力いただいております日本薬科機器協会の皆様に心から感謝申し上げます。

1. 開催要項

- 名称：日本薬学会第 145 年会 併催展示会
- 会期：2025 年(令和 7 年) 3 月 27 日(木)～ 29 日(土)
- 会場：福岡国際会議場 〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町 2-1 TEL：092-262-4111
マリンメッセ福岡 B 館 〒812-0031 福岡県福岡市博多区沖浜町 2-1 TEL：092-262-5111
- 主催：日本薬科機器協会
- 後援：日本薬学会
- 学会テーマ：薬学エコシステムの推進：異分野連携で拓く未来のイノベーション
- 組織委員長：大嶋 孝志 先生（九州大学大学院薬学研究院）
- 来場者：薬学系大学、製薬関連企業研究所・工場、国公私立研究機関、病院薬剤部、開業調剤薬局、卸等の日本薬学会会員（約 7,500 人）

2. 出展申込要項

(1) 小間仕様

基礎小間

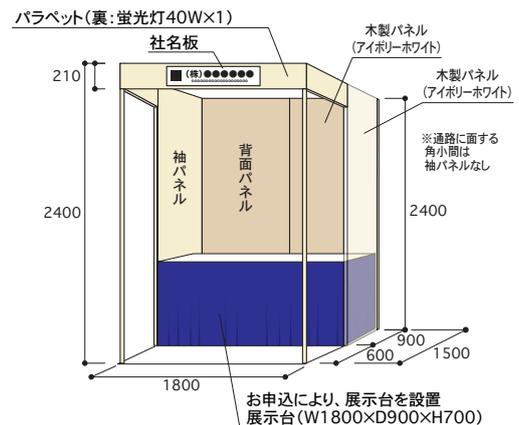
■小間サイズ

間口 1800mm× 奥行 1500mm× 高さ 2400mm

※通路をはさんで並列で向かい合わせ希望の場合は、片側 5 小間以上、合計 10 小間以上を原則とします。

■小間設備

- ・背面パネル（木製パネル(W1,800×H2,400)）
- ・袖パネル（木製パネル(W900×H2,400)）
※通路に面する角小間には、袖パネルを取り付けません。
- ・社名板（W1200×H200 統一書体での黒色書き・日英併記）
※指定ロゴを使用したい場合は別途有料でお作りします。
株式会社は（株）など略称表記となります。
- ・蛍光灯（40W×1 灯）



■パネルはアイボリーホワイト色を使用します。

展示台(W1800×D900×H700 天板白布、腰紺布つき)を無料でご用意いたします。「展示申込書」にて展示台の有無および台数を申し込んでください。

※ご用意できる展示台の耐荷重は 70kg 以下です。

これ以上の重量の出展製品がある場合は、出展社様にて展示台のご用意をお願いいたします。

※袖は原則として、背面パネルより 900mm 以上出すことは出来ません。施工上で袖を 1500mm まで伸ばしたい場合には、「展示申込書」の要望欄にご記入いただくか、展示会事務局にご相談ください。

以上の仕様を事務局にて設置いたします。

上記以外については各出展社にて行ってください。

■電気について

- (1) 提出していただいた申込書の所要量に応じた幹線工事（一次配線工事）を小間の後壁まで行います。
- (2) 必要コンセント等の小間内配線（二次配線工事）は、それぞれ、申込書にご記入の上お申し込みください。
- (3) 一次・二次配線工事費、並びに消費電力料は、後日別途請求いたします。（出展社負担）
- (4) 通夜送電はできません。
- (5) 単相 100V・200V の区別を明確に記入してください。

■その他ご要望がある場合は「展示申込書」の要望欄にご記入下さい。

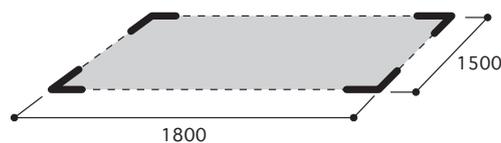
例：社名板指定ロゴ、商談用椅子（有料）

スペース小間

■小間サイズ

1小間につき 間口 1,800mm×奥行き 1,500mm

※スペース小間は4小間以上のお申込みのみとなります。



■小間設備

小間のコーナー（4隅）表示のみ

※高さ制限は、4～5小間は3.5mまで、6小間以上は4mまでとなる予定です。

（独立したブロック小間についてのみ）

但し、2.4mを超える場合は事務局にご申請ください。

※あくまでも予定のため、変更の可能性がございます。

高さ制限の決定は出展マニュアルにてお知らせいたします。

※小間の位置により、高さ制限が変わる場合がございます。

また、通路に面している壁面の3分の1は、開放したデザインにしてください。

展示例



■電気について

(1) 提出していただいた申込書の記入内容に応じて幹線工事（一次配線工事）を行い、ご指定の位置にブレーカーを設置いたします。

(2) 一次・二次配線工事費、並びに消費電力料は、後日別途請求いたします。（出展社負担）

(3) 通夜送電はできません。

(4) 単相 100V・200V の区別を明確に記入してください。

(2)

展示出展料

※今回より出展料が改訂となりました。

【1小間あたり】

正会員

215,000円 (税別)

展示会員

270,000円 (税別)

※正会員とは、日本薬科機器協会に所属（入会）している会員企業を指します。

展示会員は、上記以外の企業で展示会に出展していただける企業を指します。

※4小間以上～9小間お申し込みの場合：1小間あたり 10,000円

10小間以上お申し込みの場合：1小間あたり 15,000円

を上記展示出展料より割引させていただきます。

(3)

お申込方法・締切

電子メールによる申し込みとホームページによる申し込み、二通りの方法がございます。（P13～P14参照）

なお、締切日は **2024年12月27日(金)** です。

※スペースに限りがございますので定数になり次第締め切りと致します。

(4)

キャンセル料について

出展社の都合による出展申し込みの取消しは、原則としてできません。

但し、やむなく取消しを行なう場合は文書にて事情を明記し、日本薬科機器協会の承認を受けてください。

この場合、以下のようなキャンセル料をお支払い願います。

開催2ヶ月前まで：出展料の30%

開催2ヶ月前以降：出展料の100%

(5)

ご請求

出展料は、お申込締切日より約1ヶ月後にお送りする請求書記載の指定銀行口座にお振り込みください。

電機関係及びオプション料（使用した場合のみ）は、展示会終了後に別途請求いたします。

(6) 展示小間割当

- (1) 原則として申込順と致しますが、展示会事務局にご一任願います。
- (2) 会場に制約があるため、ご希望に沿えない場合があることをご了承ください。
- (3) 小間割の決定とともに、「小間割図」「出展マニュアル」をお送り致します。

(7) ワークショップ、新技術・新製品セミナー

日本薬学会第145年会 併催展示会において、ワークショップ、新技術・新製品セミナーを開催致しますので、多数のご参加をお願いいたします。

詳しい内容は、ワークショップ：P9、新技術・新製品セミナー：P10をご覧ください。

(8) 年会 WEB 要旨集 (スマホアプリ) の作成

来場者の皆様に展示品とその他の企画(ワークショップ、新技術・新製品セミナー)を広く認知していただくために「年会 WEB 要旨集 (スマホアプリ)」に出展企業情報を掲載し、広報いたします。各社の社名(日英併記)、出展製品、住所、連絡先(TEL・FAX・URL)等を掲載し、参加者が年会会場内にてスマホアプリで検索できるようになります。

後日、専用フォームを配信しますので、展示申込書の項目に従って掲載したい情報をお間違いないようにご記入ください。

3. 開催までのスケジュール

11月(令和6年)	12月	1月(令和7年)	2月	3月
	<p>★</p> <p>・ 申込締切 2024年 12月27日(金)</p>		<p>★</p> <p>・ 小間割図 出展マニュアル メール配信 2025年 2月中旬頃</p> <p>★</p> <p>・ 年会WEB要旨集 出展企業情報登録 (専用フォームを配信) 2025年 2月下旬頃</p>	<p>★</p> <p>・ 搬入 2025年 3月26日(水)</p> <p>★</p> <p>・ 搬出 2025年 3月29日(土)</p>

※ 搬入・搬出に関する詳細は、申込締め切りの後に「出展マニュアル」、「小間割図」にてお知らせいたします。

4. 出展に関する注意事項・禁止事項

(1) 展示品の輸送

下記運輸会社と一括輸送を特約しておりますので、ご希望の方は、直接同社へお申し込みください。同社が一括して引き受けますが、運送料については、各社で直接お申し込みください。

富島海運 株式会社(橋本政宏) 〒136-0082 東京都江東区新木場 1-8-17
電話：03-3521-8011 FAX：03-3521-8016 E-mail：hashimoto@tomijimakaiun.com

(2) 展示品の受取り、管理

輸送された展示品の受け取り、管理は、展示する会社が必ず会場に係員を派遣して当たってください。防犯上の点から、展示品を会場へ直送されても、事務局や会場による代理受取りはいたしません。事故防止のため、時間外の会場への立ち入りは禁止いたします。

(3) 保険契約

事故防止には最善を尽くしますが、盗難、火災、災害等の損害に対しては一切責任を負いません。各社で保険契約をしていただくようお願い致します。

(4) 小間の譲渡・貸与・相互交換の禁止

出展社は割り当てられた小間の全部又は一部を、有償無償を問わず第三者に譲渡、貸与もしくは、相互交換する事はできません。

(5) 展示期間中の禁止・制限事項

【通路使用禁止】

出展社の展示、装飾、印刷物の配布等は、すべて自社小間内で行うものとします。自社スペースをのみ出した受付台・机・いす等の設置、通路部分へのカーペットの敷設、通路での印刷物の配布等は一切禁止いたします。また、カタログ等の保管スペースは、各小間内に確保してください。

【音響装置と音量規制】

- (1) 小間内のマイク用スピーカーは、内側に向けて設置してください。
- (2) マイクの音量は、常識の範囲内（小間前面2m、高さ1mで計測して70ホン以下とする。）で極力制限すること。なお70ホン以下でも近隣の出展社よりクレームがあった場合、事務局の指示に従い、直ちに音量を下げてください。

【給排水、ガスについて】

給排水、ガスなどは使用できません。なお、水を使用される方は、ポリバケツ等をご用意ください。

【終了時間と撤収について】

展示会の終了時間を厳守し、終了前に片付け始めることのないようにしてください。

(6) 不可抗力による開催変更・中止等の免責

主催者は、不可抗力または、やむを得ない事情により、会期・開催時間の変更、または開催を中止する場合があります。中止の場合は、出展料は返金致しますが準備に要した費用は、申込み小間数に応じて、出展社にご負担頂く場合がございますのでご了承ください。

(7) コロナウイルス感染症の対応

展示会場のコロナウイルス感染症対応につきましては安心・安全を心がけた運営を致します。詳細は後日出展申込各社に配信予定の「出展マニュアル」をご参照下さい。

申込先・問い合わせ先

日本薬科機器協会 展示会事務局

〒983-0024 宮城県仙台市宮城野区鶴巻1丁目22番63号

TEL：022-388-6151 FAX：022-388-6155 E-mail：tenji@nyk.gr.jp

日本薬学会第145年会 併催展示会 「新技術・新製品セミナー」について（ご案内）

日本薬学会第145年会 併催展示会において、下記の「新技術・新製品セミナー」を開催いたします。
出展機器に対するより詳しい説明、あるいは出展機器を用いた実験結果の説明など、展示ブースでは不可能な
プレゼンテーションにご利用ください。多数の参加申込みをお待ちしております。

記

- テーマ：① 高速液体クロマトグラフ並びに周辺機器、及びその他分析機器
② ダイオキシン類・環境ホルモン（内分泌かく乱化学物質）・その他特定
化学物質等、環境保全・環境科学に関する分析機器と環境試料の捕集及び処理装置
③ 遺伝子・タンパク質の解析機器（バイオインフォマティクスを含む）とその周辺機器
④ 薬学研究に使用されるその他の機器・システム・施設・機材
（実験動物用機器、環境調節装置、汎用研究機器等）
⑤ その他
- セミナー期日：2025年3月27日・28日・29日（予定）
- 場 所：福岡国際会議場 または マリンメッセ福岡
- 発表時間：20分以内
- 参加資格：出展会社に限る
- 参加料：正会員 3タイトルまで無料（4タイトル目から、30,000円（税別）／1タイトル）
展示会員 30,000円（税別）／1タイトル
- 申込方法：別紙申込書に、テーマ番号、発表タイトルとその内容をご記入の上、事務局へお申し込みください。
- 申込締切日：**2024年12月27日（必着）**
- 日程並びに時間割：
申込締切り後、協会事務局において調整の上、ご連絡いたします。
発表は1タイトルにつき3月27日・28日・29日（予定）の中で1回です。申込多数の場合は、申込順、テーマなどを考慮し協会事務局において調整いたしますのでご了承ください。
- 取り消し及び削除：
日程、時間割決定後の参加取り消し、及びタイトルの削減には応じかねますのでご了承ください。また、時間の延長にも応じかねますのでご了承ください。
- PRと聴講者の募集について：
1) 当協会では、ホームページへの掲載、要旨集アプリへの掲載等、新技術・新製品セミナーの開催について広くPRいたしますが、発表各社においても、自社発表時の聴講者の動員について積極的なご勧誘をお願いいたします。
2) 当新技術・新製品セミナーの日程、時間割および内容は、「協会HP」及び日本薬学会第145年会組織委員会発行の「講演要旨集」「要旨集アプリ」等に掲載され、PRする予定です。
- 発表に必要な備品カタログ・テキストについて：
1) 当協会でご用意する備品
マイク、スピーカー、プロジェクター（HDMI対応）、スクリーン（4:3）、レーザーポインター、タイトル（めくり）、演台、受付用机等。
2) 発表会社でご用意いただくもの
イ) 予稿集、テキストまたはカタログなど聴講者に配布するもの。
ロ) 外国語で発表する場合は、通訳を同行してください。
* PCは、各社でご用意ください。
※スクリーンの画面比は4:3になりますので、発表用データとパソコンの画面比の両方を4:3に合わせてお持ち込みいただくことをお勧めいたします。
- 申込先・問い合わせ先：

日本薬科機器協会展示会事務局 電話：022-388-6151 FAX：022-388-6155 E-mail：tenji@nyk.gr.jp

前回出展状況(参考)

The Exhibition at The 145th Annual Meeting of the Pharmaceutical Society of Japan

日本薬学会第144年会 併催展示会

■会場：パシフィコ横浜 展示ホール ■会期：2024年3月29日(金)～31日(日)
 ■展示規模：112社/136小間

出展社一覧 (50音順、敬称略)

機 器	
1	住友化学(株) SUMITOMO CHEMICAL Co., Ltd.
2	アジレント・テクノロジー(株) Agilent Technologies Japan, Ltd.
3	(株)クロマニックテクノロジー ChromaNik Technologies Inc.
4	(株)ダイセル DAICEL CORPORATION
5	(株)島津製作所 SHIMADZU CORPORATION
6	富士シリシア化学(株) FUJII SILYSIA CHEMICAL LTD.
7	日本ガイシ(株) NKK Insulators, Ltd.
8	(株)日立ハイテック/ (株)日立ハイテクサイエンス Hitachi High-Tech Corporation
9	東ソー(株) TOSOH CORPORATION
10	ジーエルサイエンス(株) GL Sciences Inc.
11	(株)ワイエムシ YMC CO., LTD.
12	山善(株) Yamazen Corporation
13	(一財)化学物質評価研究機構 CERI
14	(株)湯山製作所 YUYAMA MFG Co.,Ltd
15	英弘精機(株) EKO INSTRUMENTS CO.,LTD
16	(株)バイオクロマト BioChromato, Inc.
17	(株)シンキー THINKY CORPORATION
18	エムアイケミカル(株) MI CHEMICAL Co., Ltd.
19	メルク(株) Merck Ltd. Japan
20	(株)マツボー Matsubo Corporation
21	サカセ化学工業(株) Sakase Chemical Co.,Ltd
22	(株)セツロテック Setsuro Tech Inc.
23	東京理化器械(株) TOKYO RIKAKIKAI CO.,LTD
24	(株)大日本精機 DAINIPPON SEIKI CO., LTD.
25	(株)DFC DFC Co.,Ltd
26	ヤマハ発動機(株) YAMAHA MOTOR CO., LTD.

27	DKSHマーケットエクスパンションサービス(株) DKSH Market Expansion Services Japan K.K.
28	三洋貿易(株) Sanyo Trading Co.,Ltd.
29	(株)ファルモ PHARUMO, Inc.
30	東京ダイレック(株) Tokyo Dylec Corp.
31	(株)ケー・エヌ・エフ・ジャパン KNF/Japan Co.,Ltd
32	(株)VIPグローバル VIP GLOBAL CO., LTD.
33	(株)トーショー TOSHO Inc.
34	(株)日本サマル・コンサルティング Nihon Thermal Consulting Co., Ltd.
35	プロテックブリッジ(株) Protechbridge Corporation
36	ジャパンハイテック(株) Japan High Tech Co.,Ltd
37	(株)堀場製作所 HORIBA, Ltd.
38	フナコシ(株) Funakoshi Co., Ltd.
39	(株)QTnet QTnet, Inc.
40	日本分光(株) JASCO Corporation
41	東芝ナノアナリシス(株) TOSHIBA NANODANALYSIS CORPORATION
42	(有)桐山製作所 KIRIYAMA GLASS COMPANY
43	コホート・生体情報支援プラットフォーム Platform of Supporting Critical Study and Bioprocess Analysis
44	NETZSCH Japan(株) NETZSCH Japan
45	CEM Japan(株) CEM Japan K.K.
46	富士フイルム和光純薬(株) FUJIFILM Wako Pure Chemical Corporation
47	(株)セルシード CellSeed Inc.
48	(株)シンファクトリー SHINFACTORY CO.,LTD.
49	フィジオマキナ(株) PHYSIO MCKINA CO.,LTD
50	(株)メルシー Mercil Co.,Ltd.
51	(株)スクラム Scrum Inc.
52	JAXAベンチャー(株)ツイソクセラ TWC/CoSels,Inc

53	(株)イーシーフロンティア EC frontier co.,LTD.
54	(株)エイソス AIZOTH Inc.
55	(株)日本サイエンスコア Nippon Science Core Co.
56	(株)特殊免疫研究所 INSTITUTE OF IMMUNOLOGY CO.,LTD.
57	(株)リガク Rigaku Corporation
58	(株)ウイスマー WISMERLL Co., Ltd.
59	(株)アドバンテスト Advantest Corporation
60	中村科学器械工業(株) NAKAMURA SCIENTIFIC INSTRUMENTS INDUSTRY CO.,LTD.
61	(株)高研 KOKEN CO., LTD.
62	ACSアメリカ化学会 ACS Publications
63	キョーテック(株)/artience(株) Kiko-Tech Co.,Ltd.
64	(株)タカソノ Takazono Corporation
65	富山産業(株) Toyama Sangyo Co., Ltd.
66	(株)ケー・エー・シー KAC Co.,Ltd
67	上海南方モデル生物バイオテクノロジー(株) Shanghai Model Organisms Center, Inc.
68	ジェリクル(株) Gelycycle Co., Ltd.
69	ヴェオリア・ジェネツ(株) Veolia Jemets K.K.
70	京ダイアグノスティクス(株) kyo-diagnostix K.K.
71	サーモフィッシャーサイエンティフィック Thermo Fisher Scientific
72	Revvity
73	(株)野村事務所 Nomura Umusho, Inc.
74	(株)パウレック POWREX CORPORATION
110	ハリオサイエンス(株) HARIO SCIENCE CO.,LTD
111	東京化成工業(株) TOKYO CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.
112	日本神経精神薬理学会 The Japanese Society of Neuropharmacology

医 薬 品	
83	中外製薬(株) Chugai Pharmaceutical Co., Ltd.
84	iケミカルラボ(株) i Chemical Lab. Corporation

文 献 情 報 検 索 シ ス テ ム	
75	Noster(株) Noster Inc.
76	Wavefunction, Inc.
77	ノーザンサイエンスコンサルティング(株) Northern Science Consulting Inc.
78	天然香気研究会 Nihon Society for Natural Aroma (NSNA)
79	MOP- Academic Open Access Publishing since 1995
80	(株)メディリード Medilead Inc.
81	CIL / 大塚製薬 CIL / Otsuka Pharmaceutical Co., Ltd.
82	化学情報協会 Japan Association for Chemical Information
85	コンプレックス(株) COMPLEX Corporation
86	エルゼビア・ジャパン(株) Elsevier Japan K.K.
87	(株)モルシス MOLISIS Inc.
88	(公財)MR認定センター MR Education & Accreditation Center of Japan
89	エスイエティーディー SATT
90	(株)ワールドフュージョン World Fusion Co., Ltd
91	シュレディンガー(株) SCHROEDINGER
92	(株)アフィニティサイエンス Affinity Science Corp.
93	クロムソードジャパン(株) ChromSword Japan Co., Ltd.
94	(株)ヒューリンクス Hulinks Inc.

書 籍	
85	(株)廣川鉄男事務所 Hirokawa Tetsuo Publishing INC.
86	(株)化学同人 Kagaku-Doin Publishing Company,INC
87	ユサコ(株) USACO Corporation
88	Taylor & Francis Japan
89	(一社)日本試薬協会 Japan Reagent Association
100	エディテージ Editage
101	(株)科学新聞社 The Science News Ltd.
102	(株)東京化学同人 TOKYO KAGAKU DOJIN CO., LTD.
103	内閣府 食品安全委員会 Food Safety Commission of Japan
104	(株)南江堂 Nankodo Co.Ltd.
105	(株)薬事日報社 Yakuri Nippo,LTD.
106	(株)じほう Jho, Inc.
107	紀伊国屋書店 KINOKUNIYA COMPANY LTD.
108	(株)南山堂 NANZANDO CORPORATION
109	(株)羊土舎 YODOSHA

リクルート	
R-1	一般社団法人日本病院薬剤師会 Japanese Society of Hospital Pharmacists
R-2	沼津市立病院 NUMAZU CITY HOSPITAL
R-3	千葉県市立山香病院 Kisaki City Yamaga Hospital
R-4	学校法人 東京女子医科大学 Tokyo Women's Medical University
R-5	兵庫県病院薬剤師会 Hyogo Hospital Pharmaceutical Society
R-6	J A 長野厚生連 Nagano Prefecture Niwa National General Hospital
R-7	社会福祉法人 聖隷聖マリアンナ総合病院 Seirei St. Marianna General Hospital
R-8	龍ヶ崎済生会病院 Ryugasaki Seiseikai Hospital
R-9	独立行政法人国立病院機構(NH) National Hospital Organization
R-10	社会医療法人 日南記念病院 Nishinaka Memorial Hospital
R-11	一般社団法人鹿児島県病院薬剤師会 Kagoshima Society of Hospital Pharmacists
R-12	社団法人 徳島県医師会・徳島県薬剤師会 Tokushima Prefecture Medical Association
R-13	国立大学病院薬剤師部長会 Association of pharmacy directors of national university hospitals
R-14	国際医療福祉社大学グループ International University of Health and Welfare
R-15	亀田メディカルセンター Kamada Medical Center
R-16	茨城県 / 茨城県病院薬剤師会 Ibaraki Prefecture / Ibaraki Society of Hospital Pharmacists
R-17	高知県病院薬剤師会 Kochi Society of Hospital Pharmacists
R-18	上尾中央医療院グループ (AMG) Ageo Medical Group
R-19	石川県 / 石川県病院薬剤師会 Ishikawa Prefecture / Ishikawa Society of Hospital Pharmacists
R-20	徳洲会グループ (医療法人 徳洲会) Tokushukai Medical Group
R-21	鳥取大学医学部附属病院 Tottori University Hospital
R-22	千葉県病院薬剤師会 Chiba Society of Hospital Pharmacists
R-23	日本赤十字社 (日本薬剤師会) Japanese Red Cross Society (Japan Red Cross Pharmaceutical Association)
R-24	社団法人 日本健康福祉推進機構・JCO 健康福祉会 Japan Community Healthcare Organization
R-25	藤枝市立総合病院 Fujiwara Municipal General Hospital
R-26	沖縄県病院薬剤師会 Okinawa Society of Hospital Pharmacists

会場全体構成



新技術・新製品セミナー

ワークショップ

1日目 3月29日 金	
【テーマ】 高速液体クロマトグラフ並びに周辺機器、及びその他分析機器	
YS-1 10:00 ~ 10:20 (株)ダイセル	新製品キラルカラムCHIRALPAK®INの特徴と使用例
YS-2 10:25 ~ 10:45 (株)ダイセル	新製品アキラルカラムDCpak® PMPCの特徴と分離応用例
YS-3 10:50 ~ 11:10 (株)ワイエムシー	新創薬モダリティのLC分離のポイントと最新カラムの紹介
YS-4 11:15 ~ 11:35 (株)クロマテック/ロジーズ	液クロ玉手箱：知って役立つ！C18(ODS)カラムの選び方
YS-5 11:40 ~ 12:00 (株)クロマテック/ロジーズ	液クロ玉手箱：C18で困った時のPhenylカラムの活用法
YS-6 13:30 ~ 13:50 (株)メルク	逆相条件下で親水性化合物を分析～Carbonカラムを用いた手法
YS-7 13:55 ~ 14:15 (株)ワイエムシー	逆相モードによるオリゴ核酸の分離ノウハウと最適カラムのご紹介
YS-8 14:20 ~ 14:40 (株)ワイエムシー	ペプチド・タンパク質の逆相LC分離メソッド最適化アプローチ
YS-9 14:45 ~ 15:05 (株)ダイセル	ODSカラムとは一味違う、ダイセルカラムの分離例いろいろ
YS-10 15:10 ~ 15:30 (株)メルク	標準物質のグレードがカギを握る！医薬品分析の標準物質の選択
YS-11 15:35 ~ 15:55 アジレント・テクノロジー(株)	プロセス分析技術の最新事例～HPLCによるプロセスモニタリング
2日目 3月30日 土	
YS-12 10:00 ~ 10:20 (株)クロマテック/ロジーズ	こんな時はどうすれば？実例から学ぶカラムトラブル対処法
YS-13 10:25 ~ 10:45 アジレント・テクノロジー(株)	多様なモダリティ分析への分離提案～HPLC分離による特性解析
YS-14 10:50 ~ 11:10 ヴェオリア・ジェネッツ(株)	LCMSに最適な超純水装置と今お使いの装置の使用上の注意点

YS-15 11:15 ~ 11:35 (株)メルク	自動2次元電気泳動装置Auto2D®のご紹介
YS-16 11:40 ~ 12:00 (株)メルク	研究を加速させる！Avanti®の新製品
YS-17 13:30 ~ 13:50 (株)メルク	タンパク質解析装置xMAP®INTELLIFLEXのご紹介
YS-18 13:55 ~ 14:15 三洋貿易(株)	PreSens社製酸素計を用いた細胞評価と酸素計の紹介
YS-19 14:20 ~ 14:40 (株)メルク	創薬スクリーニングにAIの力を- AIDDISON®
YS-20 14:45 ~ 15:05 (株)メルク	μMAP：直接依存性標識の新技术
YS-21 15:10 ~ 15:30 (株)マツボー	インライン対応 連続式ナノ粒子粒径測定技術
【テーマ】 ダイオキシン類・環境ホルモン(内分泌かく乱化学物質)・その他特定化学物質等、環境保全・環境科学に関する分析機器と環境試料の推集及び処理装置	
YS-22 15:35 ~ 15:55 ヴェオリア・ジェネッツ(株)	PFAS分析に最適な超純水装置とその使用上の注意点
3日目 3月31日 日	
【テーマ】 薬学研究に使用されるその他の機器・システム・施設・機材(実験動物用機器、環境調節装置、汎用研究機器等)	
YS-23 10:00 ~ 10:20 (株)ダイセル	新規ワクチン投与デバイスを用いた皮内DNA免疫法
YS-24 10:25 ~ 10:45 (株)島津製作所	腸内環境を模した共培養を実現する腸内細菌共培養デバイスご紹介
YS-25 10:50 ~ 11:10 英弘精機(株)	錠剤製造のための粉体の流動性評価法の紹介
【テーマ】 その他	
YS-26 11:15 ~ 11:35 日本ガイシ(株)	日本ガイシ(株)の新サービスのご紹介(有機化合物結晶化サービス)

1日目 3月29日 金	
YWS-1 11:00 ~ 12:00 (株)ハリオサイエンス	実はガラスは液体だった！意外に知らないガラスの性質
YWS-2 13:30 ~ 14:30 アジレント・テクノロジー(株)	反応槽からのサンプリング～HPLC分析の自動化
YWS-3 15:00 ~ 16:30 (株)メルク	体験してみよう！逆合成解析ソフトウェアSYNTHIA®
2日目 3月30日 土	
YWS-4 10:00 ~ 11:30 サモフィシナー・サイエンス	クライオ電子顕微鏡による新規創薬研究の加速
YWS-5 13:30 ~ 14:30 (株)島津製作所	LC-MSをさわってみましょう！
YWS-6 15:00 ~ 16:30 (株)メルク	体験してみよう！逆合成解析ソフトウェアSYNTHIA®
3日目 3月31日 日	
YWS-7 10:00 ~ 11:30 ヴェオリア・ジェネッツ(株)	高感度分析に用いる超純水の管理と使用方法・ノウハウ

広報・PR活動

年会 WEB 要旨集 (スマホアプリ) に出展企業情報を掲載し、参加者が年会会場内で出展社情報を検索できるようにします。また、年会ホームページなどで来場予定の方々へ広報します。

また、会場内の協会ブースにて「やげん」「メールマガジン登録」「リクエストコーナー」「展示会情報」「次年度開催コーナー」などの、PRブースを設け広く参加者の皆様に情報の提供を行います。一方、ホームページや「やげん」でも展示会の最新情報を配信します。

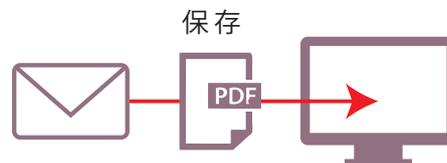
■年会 WEB 要旨集 (イメージ)



電子メールによる申込（メールに添付した入力フォーム形式）

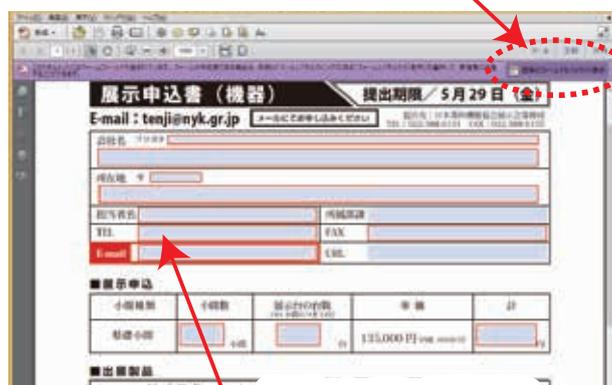
<入力手順>

- ①メールに添付されている申込書（入力フォーム形式）をご自身のPC（デスクトップ等）に保存してください。



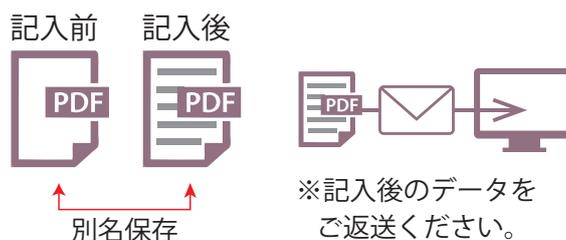
- ②申込書（入力フォーム形式）のPDFを開いていただき、入力フォームに従いましてご入力ください。
※PDFを開いたとき、1回目は入力箇所がハイライト表示になっていない場合がございます。その際は、画面右上の「既存のフィールドをハイライト表示」をクリックし、色のついた箇所をクリックしてご記入ください。

チェックがついていなければクリック



色がついている箇所をクリックして入力できます

- ③入力が完了しましたら、データを別名で保存していただきファイル名に貴社名を入力して展示会事務局（tenji@nyk.gr.jp）までご返送ください。



ファイル名：機器_日本薬学会第145年会_併催展示会_出展案内_展示申込書_<____>.pdf

↑
こちらに貴社名をご入力ください

※記入いただいたデータは印刷し、展示会が終わるまで保管をお願い致します。
※ご不明な点ご連絡ください。

ホームページによる申込

<入力手順>

<http://www.nyk.gr.jp/>

- ① 日本薬科機器協会のホームページにアクセスし、「展示会情報」の中の該当展示会のページを開きます。



- ② 展示会ページ内の一番下にある「出展申込み」より、お申し込みをするカテゴリを選択してください。
(薬科機器協会正会員の方は、会員ページにログイン後に開いてください)



- ③ 各種項目にしたがって、お申し込み内容を入力してください。

「出展製品」の項目につきましては、展示品のサイズと重量をすべてご入力ください。

空欄だとお申し込みが受理できませんので、ポスターやチラシなどの小型のものにつきましては、「0.1」など小さな数値をご入力いただければ結構です。



- ④ 入力完了しましたら、一番下の「お申込内容を送信」をクリックしてください。

※確認画面はございませんのでご注意ください。

「〇〇〇〇〇〇への展示申込ありがとうございました。

後日担当よりご連絡いたします。」

と、画面に表示されれば送信完了となります。

入力内容に不備がある場合は再び入力フォームが表示されますので、赤字の記載に従って入力内容を修正してください。

送信後、お申し込みいただいた E-mail アドレスに、

日本薬科機器協会 展示会事務局 (tenji@nyk.gr.jp) より申込受付内容のメールを自動で送信いたします。

※申込受付内容のメールは展示会が終わるまで保管をお願い致します。

※ご不明な点はご連絡ください。

アクセス概要図

マリンメッセ福岡 B館 〒812-0031 福岡市博多区沖浜町 2-1
 福岡国際会議場 〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町 2-1

福岡市博多区沖浜町 2-1
 福岡県福岡市博多区石城町 2-1

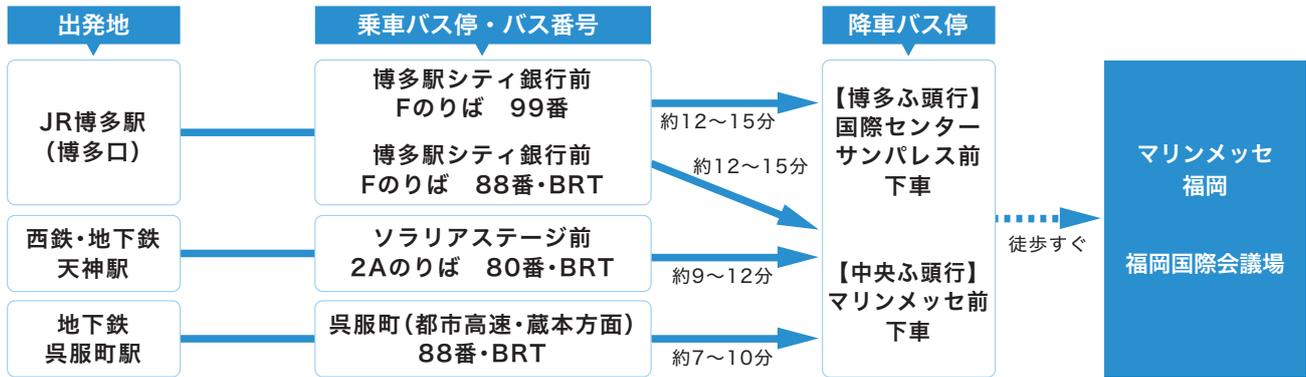
TEL : 092-262-5111
 TEL : 092-262-4111



■電車でお越しのお客様

地下鉄呉服町駅より徒歩 12～15 分・地下鉄中洲川端駅より徒歩 15～18 分・天神駅より徒歩 22～25 分・
 地下鉄天神駅より徒歩 22～25 分・JR 博多駅より徒歩 27～30 分

■バスでお越しのお客様



■自家用車/タクシーでお越しのお客様

